

重要取組シート

産業振興局 産業戦略部

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当

取組項目	中百舌鳥を拠点としたイノベーション創出
現状・課題	<p>【現状】 (立地環境など) ○中百舌鳥エリアは、大阪市中心部へのアクセス性に優れ、大阪公立大学のほか、さかい新事業創造センター（S-Cube）、堺市産業振興センター、堺商工会議所などの産業支援機関や日本政策金融公庫堺支店が立地し、スタートアップ・中小企業の着実な経営を支えており、イノベーションに資する新たなビジネスの創出の中心的役割が期待される。</p> <p>○S-Cube の入居率は高く、中百舌鳥エリア内で近年整備されている小規模な賃貸オフィスビルや昨年度 S-Cube 内に開設した民営スモールオフィスも概ね満室の状態であり、賃貸オフィスの需要は高い。</p> <p>(事業環境など) ○全国的に事業所数が減少する中、新たな経済活動の担い手であるスタートアップ企業については、主体やスタイルが多様化している。</p> <p>○事業を急拡大させ、株式公開や M&A をめざすスタートアップは、ベンチャーキャピタルによる資金調達など、金、人、情報などが集まる東京に一極集中しており、関西圏では梅田に集まる傾向が強い。</p> <p>○一方、昨今、特にコロナ禍以降において、経済社会における価値観が大きく変化しており、ビジネスにおいては、社会課題解決、SDGs 等、持続的な社会と経済の発展に向けた取組が求められている。</p> <p>○一昨年よりイノベーション創出に向けた施策を強化しており、社会・経済に資する新たな価値創造に向けて取り組む起業家等が堺・中百舌鳥に集まり、イノベーションの創出と支援のネットワークによるエコシステムが生まれつつある。</p> <p>【課題】 ○首都圏や関西の中心部の特色を認識した上で、ゼブラ企業の創出促進など、中百舌鳥エリアの特色を踏まえたビジネスを創出する必要がある。 ※ゼブラ企業：社会課題解決と持続的な経営を両立する企業。自己の多大な利益追求を志向するユニコーン企業に対する概念。</p> <p>○多様化するビジネスのスタイルに合わせた支援が必要となっており、民間企業や国、他の自治体・支援機関等と連携した支援の充実を図る必要がある。</p> <p>○堺・中百舌鳥の持つイノベーションのポテンシャルを広く周知し認知度を高め、域内外の多様な人・事業者・支援者の交流と共創を促進し、新たなビジネスの創出を活性化させる必要がある。</p> <p>○スタートアップや中小企業等の新たなビジネスの実態化・拡大に向け、開発した新たな技術や製品の社会への実装に向けた実証等の機会提供やビジネスモデルの確立と推進支援が求められる。</p> <p>○ICT 関連企業やスタートアップ等の事業所の集積促進や、企業ニーズに合ったオフィス・企業の交流を生むスペースの整備促進が必要となっている。</p> <p>○企業や大学が次世代クラスターの形成やイノベーション創出に取り組むための環境形成を図るべく、大阪公立大学や産業支援機関との研究・開発分野などにおける産学連携を強化する必要がある。</p>

取組の内容		<p>○スタートアップ・地域の中小企業・大学（研究者・学生）・次代を担う若者・支援機関・行政そして市民の共創によるイノベーションのポテンシャルを認識し、将来の地域・社会で求められること（社会課題・地域課題解決等）に資するプロジェクトの創出、実証・実装、コミュニティ形成促進等に向け、ワークショップやマッチング、ハンズオン支援等の施策を強力に推進しイノベーション創出につながる事業数の増加を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題解決するプロジェクト・ビジネスの創出 ・創業・スタートアップ創出育成支援(アクセラレーション/インキュベーション) ・スタートアップ実証促進/ベンチャー調達（実証と実装） <p>○メディアを使いイノベーションの事例や創出に向けた取組を広く発信し、中百舌島のイノベーション創出拠点としての認知度を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感・共創のストーリーシートの作成と発信 ・全国に向けたPRイベント <p>○オフィスの集積に向け、オフィス開設に対する賃料の一部補助やスモールオフィスやフレキシブルオフィス、一定規模以上の賃貸オフィスビルの整備に対し、経費の一部補助を実施する。</p> <p>○大阪公立大学に堺専属のコーディネーターを配置し、ワークショップやマッチングなどを通じて、公立大学の持つ研究と市内中小企業によるコラボレーションによる新たなビジネスやプロジェクトの創出に向け取り組む。</p> <p>○大阪府、大阪市、堺市、大阪産業局、経済団体、大学等で構成する「大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」や市長公室、建築都市局と共に取り組む「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」など、関係機関と情報共有・協力して、イノベーション創出に向けより効果的な取組をすすめる。</p>
スケジュール	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> スタートアップ支援事業等を実施（随時） <input type="checkbox"/> 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> スタートアップ支援事業等を実施（随時） <input type="checkbox"/> 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 市内スタートアップ支援事業等を実施（随時） <input type="checkbox"/> 民間企業や大学、産業支援機関や庁内関連部局と連携し、企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 効果検証を含めた事業展開を行う。
進捗の状況	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 業務系補助金の申請受付（4月～） <input type="checkbox"/> さかいアクセラレーションプログラムの募集開始（5月～） <input type="checkbox"/> 堺市内で実証事業を行うスタートアップの募集開始（5月～） <input type="checkbox"/> ベンチャー調達認定制度の募集開始（6月～） <input type="checkbox"/> 金融、アントレプレナーシップ教育イベントを実施（7月、8月）

	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> 大阪公立大学との産学官連携事業を開始(8月~) <input type="checkbox"/> 地域社会未来創出プロジェクトを開始(8月~) <input type="checkbox"/> 中百舌鳥イノベーションシンポジウムを開催(8月) <input type="checkbox"/> スタートアップ実証事業の支援企業決定、実証開始(9月~) <input type="checkbox"/> 全国へのイノベーションPR業務として、市内のイノベーション事例を随時公開(10月~) <input type="checkbox"/> 市内企業のイノベティブな取組やビジョンなどをまとめたストーリーシートを順次公開(10月~) <input type="checkbox"/> ベンチャー調達認定制度の認定企業・商品決定(10月) <input type="checkbox"/> 企業・その他関係者の交流や共創によるイノベーション創出を目的としたオンラインコミュニティを開設(11月~)	
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> オンラインコミュニティ交流イベント「コネクト・タイム」毎月開催(12月~) <input type="checkbox"/> 中百舌鳥イノベーションシンポジウムを開催(2月) <input type="checkbox"/> 地域社会未来創出プロジェクト発表会を開催(2月) <input type="checkbox"/> さかいアクセラレーションプログラム デモデイを開催(2月) <input type="checkbox"/> U30起業家輩出プログラムSIP デモデイ(成果発表会)を開催(2月) <input type="checkbox"/> スタートアップ実証事業 支援企業の実証事業終了(2月) <input type="checkbox"/> 大阪公立大学と産学官連携セミナーを開催(3月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4- (4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
	寄与する KPI	イノベーション創出につながる事業数[現状値: 74件 (2015年度~2019年度の累計)]	目標値(2025年度) 100件(2021~2025 年度の累計)
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	寄与する KPI	—	目標値(2023年度) —